

第3章 まちづくりの目標

3-1 計画の基本理念

第4期福生市総合計画ではまちづくりの基本理念を、福生市が持つ個性、独自性、地域性に磨きをかけ、福生らしい魅力と誇りの持てる愛着のあるまちを市民とともにつくるとしています。また、福生らしい個性と魅力、にぎわいと活気を生み出し、すべての市民が心から住んでよかった、住み続けたいと思えるよう、「このまちが好き 夢かなうまち 福生」を目指すべきまちの都市像としています。

本計画の基本理念もこの目指すべき都市像を実現するため次のように定めます。

(1) 市民、事業者、行政が力を合わせてまちづくりに取り組みます。

まちづくりは、快適で安全な生活環境の中で誰もが健康で文化的な生活を営むことを願って行なわれるものであり、地域の整備と併せて地域的な連帯があってこそはじめて実現されるものです。マスタープランは福生市の将来都市像の具体的イメージとまちづくりの到達すべき目標を明確にするとともに、まちづくりの主体である市民、事業者、行政がお互いに考え方を共有し、どのような方向でまちづくりに取り組むのかを示すことを目的としており、市民、事業者、行政が力を合わせて取り組みことを基本理念の一つとします。

(2) 誰もが住み続けたいようなまちにします。

福生らしい環境や特性を生かしながら安全で安心な、快適なまちと住環境をつくり、誰もが福生市を愛し、住み続けたいようなまちとすることを基本理念の一つとします。

(3) 駅を拠点とした過度にマイカーに依存しない歩いて暮らせるまちをつくりま

す。

郊外の大型店などにマイカーで買い物に出かけることは、市街地の空洞化に拍車をかけるとともに、地球環境にも負荷をかける暮らし方です。福生駅や拝島駅を業務・商業・文化・交流機能が集積した中心拠点とし、牛浜駅や熊川駅、東福生駅を商業機能や交通機能など日常生活の便利施設が集積した生活拠点とすることにより、地球環境と人にやさしい、歩いて暮らせるまちをつくることを基本理念の一つとします。